

## 「九都県市合同防災訓練」に参加し、地震保険をPR

～埼玉損保会と埼玉代協とで初めて共同出展し、地震保険の必要性を訴求～

日本損害保険協会 関東支部 埼玉損保会（会長：谷口 健一・三井住友海上火災保険株式会社埼玉支店長）は、埼玉県損害保険代理業協会（会長：塩野 忠）と共同で、9月7日（日）に埼玉県・幸手市が主催する「第46回九都県市合同防災訓練（埼玉県会場）」に参加し、会場である県営権現堂公園2号公園での防災フェアにブース出展しました。当該ブースでは、来場者に「地震保険クイズ」を実施して、リーフレット（「備えて安心 地震保険の話」）に基づき答え合わせをしながら、地震保険の概要を説明のうえその必要性を訴えました。また子供向けには「あんしんクイズ」を実施して、日常生活における事故や災害防止の為に安全確認を行いました。

「九都県市合同防災訓練」は、発生が懸念されている「首都直下地震」や「東海地震」等による災害による被害を最小限とするため、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市、相模原市が合同で実施する防災訓練であり、自治体相互の連携協力体制の充実・強化を図るとともに、住民一人ひとりの防災知識や減災への備えの向上を目指して実施されています。

当日は、家族連れや訓練に参加する防災士や消防関係者等が多数当ブースに立ち寄り、クイズに一生懸命取り組まれながら、答え合わせにおける解説に熱心に耳を傾け、理解を示されていました。

埼玉県では、2024年度末の地震保険付帯率が「65.6%」と全国平均の「70.4%」を下回っており、まだまだ地震保険の認知度が低いと考えられることや、今回のクイズにおいても、地震保険についての理解が十分ではない面も見受けられました。

当損保会では、巨大地震に備えて、各家庭や地域の防災力を高めるため、今後も自治体や行政機関等と連携して、地震防災の取組みを鋭意進めていきます。



【地震保険についての説明】



【ブース出展の様子】